

履修年度	2024
担当教員	杉田 明宏
連番	110300HG061
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	<課題(テーマ)科目>
学年	1年生
単位	2
講義名	人権・民主主義・平和を考える(平和学B)
開講キャンパス	東松山
科目ナンバリング	910PEST0011J
科目とDPの関連	AG1★3
備考	
最終更新日	2024/02/14 15:24

授業の概要 (Outline of course)	本講義は、平和学の入門講座として、日本が関わる戦争・暴力の具体的な問題について、多角的な分析を行いつつ、平和の創造への考察を深める。平和学Bでは「原発問題からの平和学」というテーマで、とりわけ原子力発電・放射能被曝を含む核問題と向き合ってきた日本・世界の歩みを跡づけながら、福島原発事故の影響の現状と課題を多面的に考察していく。映像資料を積極的に活用し、ゲスト講師も招くなど、多様なアプローチを試る。
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	本授業の到達目標は以下の通り。 A. 原発・放射能被曝問題に関し、多面的・包括的な関心をもつことができるようになること。 B. 核の暴力と向き合い、克服していく人類社会の歩みを跡づけながら、原発問題と向き合う上での諸課題・視点を整理して分析できるようになること。 C. 本テーマに関して平和学の暴力ー平和論の基本的な概念を使って分析できるようになること。 D. 本テーマに関わる映像・文献・資料館等の多様な平和学習資源にアクセスする経験をもつこと。
DP一覧表・科目ナンバリングについて (DP List and Course Numbering)	■DP一覧表 https://www.daito.ac.jp/information/open/collage/ ■科目ナンバリング https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html
授業の方式 (Course method)	対面

授業の方法
①
(Methods of
teaching 1)

授業方法は、講義、映像視聴、ゲスト講師の講演を柱としつつ、学外フィールドワーク等を推奨する。

特徴

該当有無

A: 企業や自治体と連携した課題解決型学習 (PBL)

B: 討議 (ディスカッション、ディベート等)

C: グループワーク

D: プレゼンテーション

E: 実習、フィールドワーク

授業の方法
②
(Methods of
teaching 2)

F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等)

G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) あり

H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う (反転授業)

I: 外国語のみで行われる授業

J: インターネット等で無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 あり

K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業

L: 少人数クラス編成による授業

M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業

授業計画
(Class
schedule)

授業内容

担当教員

第1回 (Day 1)

オリエンテーション 原発・放射能問題の布置

杉田明宏

準備学修 (予習・復習等)

必要な時間

授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出

4時間

授業内容

担当教員

第2回 (Day 2)

福島原発事故と現在

杉田明宏

準備学修 (予習・復習等)

必要な時間

授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出

4時間

授業内容

担当教員

第3回 (Day 3)

放射線と被曝1 ウラン鉱採掘

杉田明宏

準備学修 (予習・復習等)

必要な時間

授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出

4時間

第4回 (Day 4)

授業内容

担当教員

放射線と被曝2 燃料加工

杉田明宏

第5回 (Day 5)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	放射線と被曝3 原発運転	杉田明宏
第6回 (Day 6)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	放射線と被曝4 廃炉 廃棄物	杉田明宏
第7回 (Day 7)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	福島原発事故の現況と課題1	杉田明宏
第8回 (Day 8)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	福島原発事故の現況と課題2	杉田明宏
第9回 (Day 9)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	原子力「安全神話」の検証1	杉田明宏
第10回 (Day 10)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	原子力「安全神話」の検証2	杉田明宏
第11回 (Day 11)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
	再生可能エネルギーの可能性1	杉田明宏
第12回 (Day 12)	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間
第12回 (Day 12)	授業内容	担当教員

		再生可能エネルギーの可能性2	杉田明宏	
		準備学修(予習・復習等)	必要な時間	
		授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間	
		授業内容	担当教員	
	第13回(Day 13)	私たちの選択肢	杉田明宏	
		準備学修(予習・復習等)	必要な時間	
		授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間	
		授業内容	担当教員	
	第14回(Day 14)	質疑・補足	杉田明宏	
		準備学修(予習・復習等)	必要な時間	
		授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間	
		授業内容	担当教員	
	第15回(Day 15)	ゲスト講師による特別授業	杉田明宏	
		準備学修(予習・復習等)	必要な時間	
		授業内容の振り返りや質問をmanabaに提出	4時間	
フィードバックの方法 (Feedback method)	授業時間内でコメントする			
教科書 (Textbooks)	なし(プリント教材を配布する)			
参考文献など (Books for reference)	高木仁三郎著『原子力神話からの解放 -日本を滅ぼす九つの呪縛』(講談社, 2011年) 小出裕章『原発のウソ』(扶桑社新書, 2011年) 他、随時紹介する。			
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	評価方法	割合	評価基準	
	筆記試験	0	%	無し
	実技評価	0	%	無し
	レポート評価	60	%	学期末レポートによる
	平常点評価	40	%	コメントペーパー・発表等により授業への参加度を評価する
	その他	0	%	無し
履修上の注意 (Important notes for applying	原爆・核兵器問題を扱う平和学Aを履修することで、さらに理解を深めることができる。			

to
the course)

実務経験①
(Practical
experience
1)

なし

実務経験②
(Practical
experience
2)

なし

その他
(Others)

講義中に紹介する参考文献を積極的に読むことを求める。また、現在進行形の問題であるため、学外のイベント等、平和に関する研究・学習の場に参加して学習を深めることを推奨する。